

川田テクノロジーズ株式会社(3443)

2023年3月期

決算説明会

2023年5月19日 15:00～

おかげさまで川田グループは
2022年5月に創業100周年を迎えました。

過去も、現在も、これからも
川田グループは「いつの時代にも技術をもって社会に貢献すること」を使命とし、
さらなる「安心で快適な生活環境の創造」を進めてまいります。



■ 第一部

2023年3月期 業績

2024年3月期 業績見込み

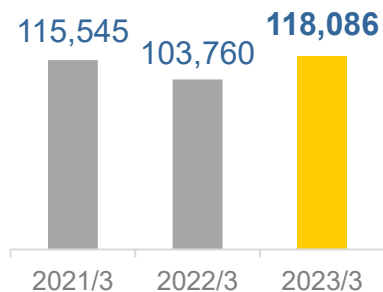
■ 第二部

第3次中期経営計画

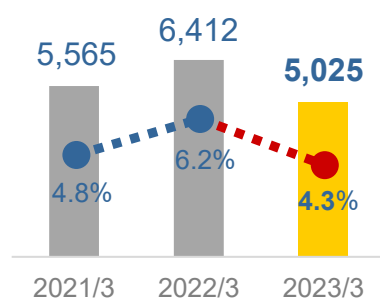
2023年3月期 業績

(単位：百万円)

売上高

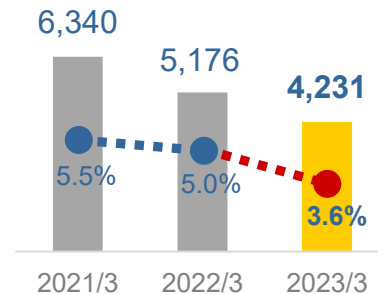


営業利益 *1

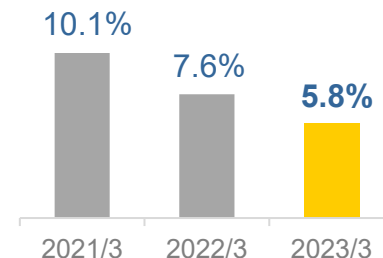


親会社株主に帰属する

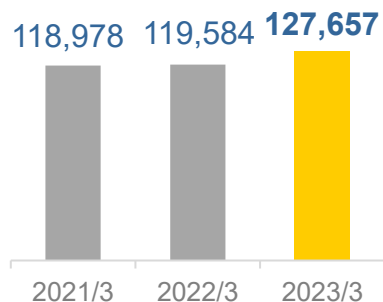
当期純利益 *1



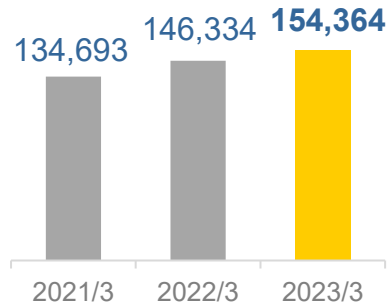
ROE



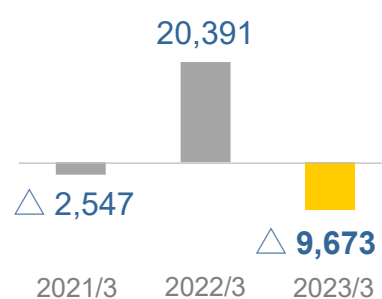
当期受注高 *2



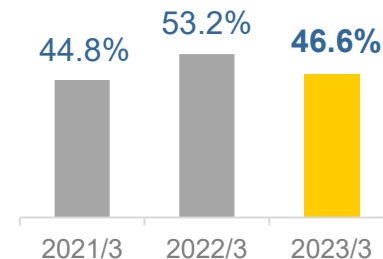
次期繰越高 *2



営業CF



自己資本比率



*1 折れ線グラフはそれぞれ売上高に対する比率を示します

*2 セグメント間の取引については相殺消去していません

売上高は増加に転じたものの当期純利益は3期連続減少
 コスト圧縮と設計変更獲得を積み上げ、当初見込みを上回る利益を計上

(単位：百万円)

	2022/3 実績	2023/3 当初見込 *	2023/3 実績	実績増減
売上高	103,760	116,000	118,086	13.8%
売上総利益	16,809	15,000	15,626	△7.0%
営業利益	6,412	4,000	5,025	△21.6%
経常利益	7,689	4,600	6,298	△18.1%
うち、持分法投資利益	883	1,217	1,378	13.2%
親会社株主に帰属する 当期純利益	5,176	2,800	4,231	△18.3%

* 2022/5/12発表の値によります

売上高・営業利益(セグメント別)

建築の売上が回復も黒字には届かず
ソリューションの売上・利益は継続的に伸長

(単位：百万円)

	売上高				営業利益			
	2022/3 実績	2023/3 当初見込	2023/3 実績	実績増減	2022/3 実績	2023/3 当初見込	2023/3 実績	実績増減
鉄 構	50,033	57,000	56,071	12.1%	5,425	3,100	4,097	△24.5%
土 木	33,037	31,000	35,035	6.0%	2,380	1,500	2,067	△13.2%
建 築	9,607	16,000	14,158	47.4%	56	600	△423	-
ソリューション	5,603	6,500	6,371	13.7%	1,252	1,400	2,047	63.5%
その他	7,159	8,000	7,989	11.6%	△297	0	△162	-

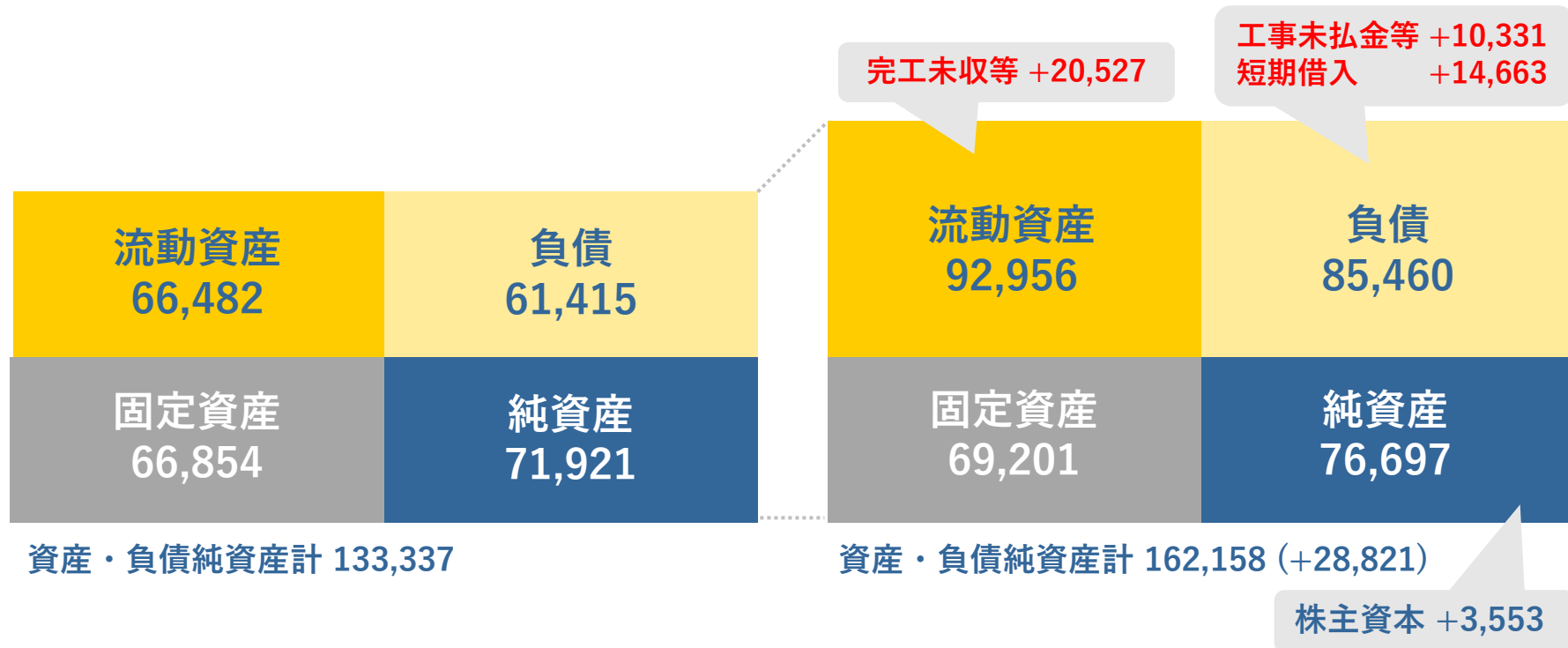
※セグメント間の取引については相殺消去しておりません

請負工事の大型化・長期化に伴い、営業債権・債務が増加傾向

2022年3月期

2023年3月期

(単位：百万円)

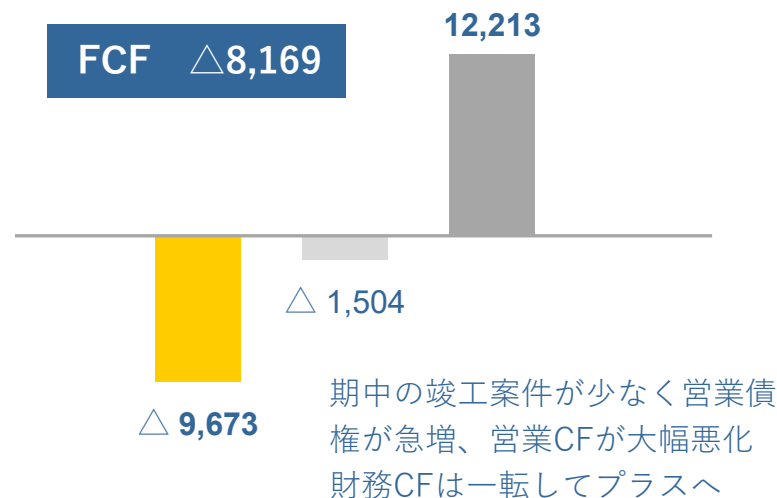
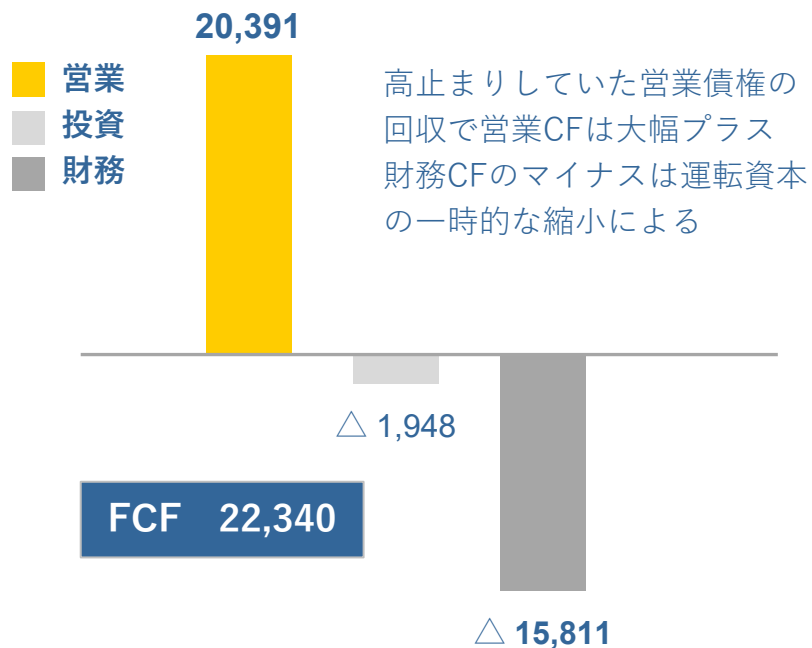


営業債権の急速な積み上がりに伴い、営業CFはマイナスへ

2022年3月期

2023年3月期

(単位：百万円)

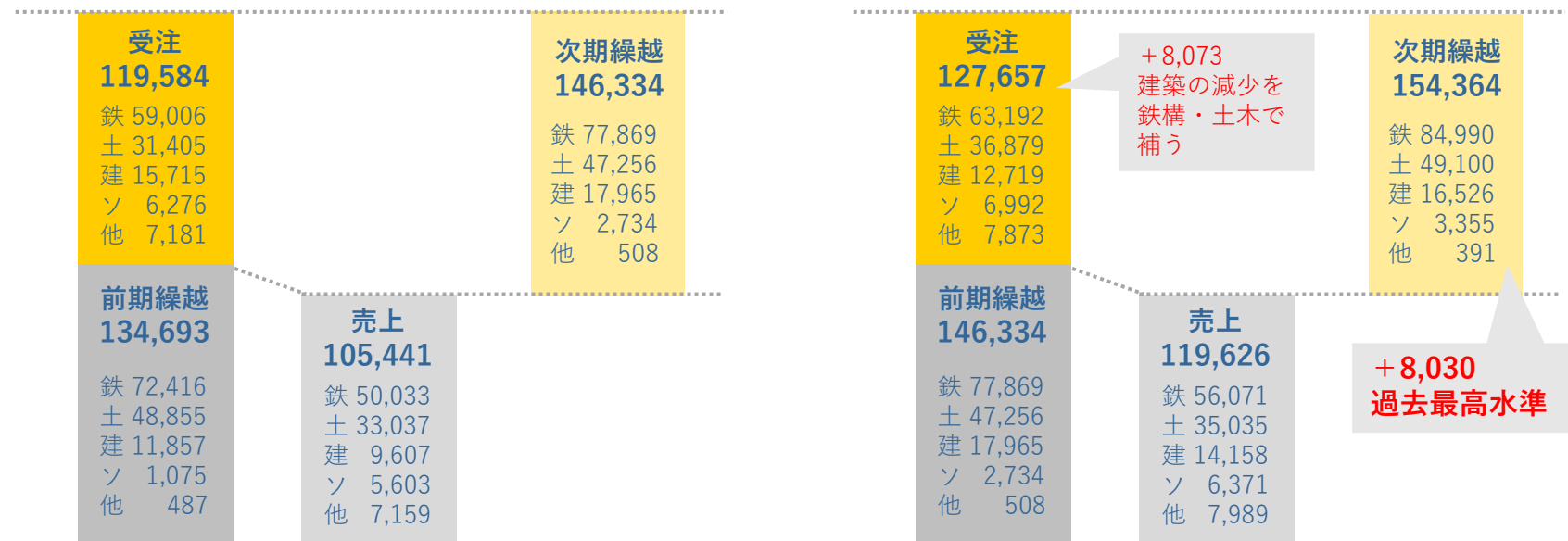


前期から豊富な繰越、当期新規受注も好調で次期繰越は過去最高水準

2022年3月期

2023年3月期

(単位：百万円)



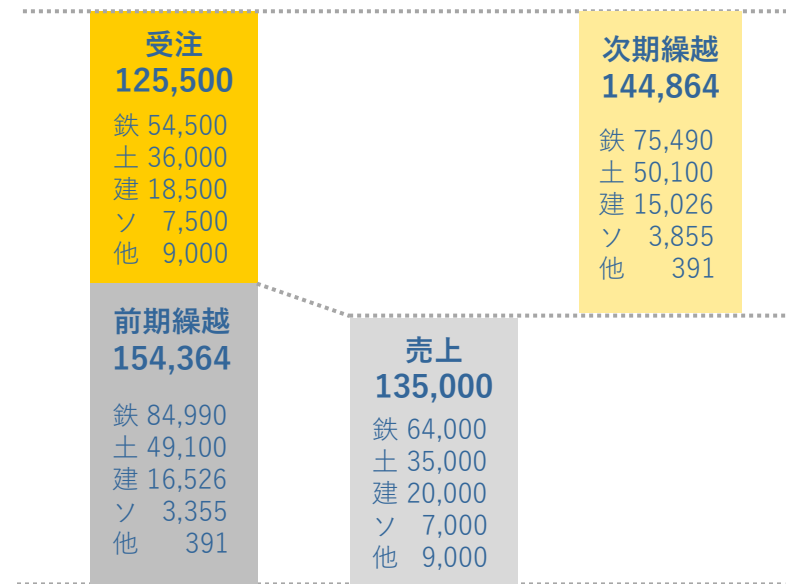
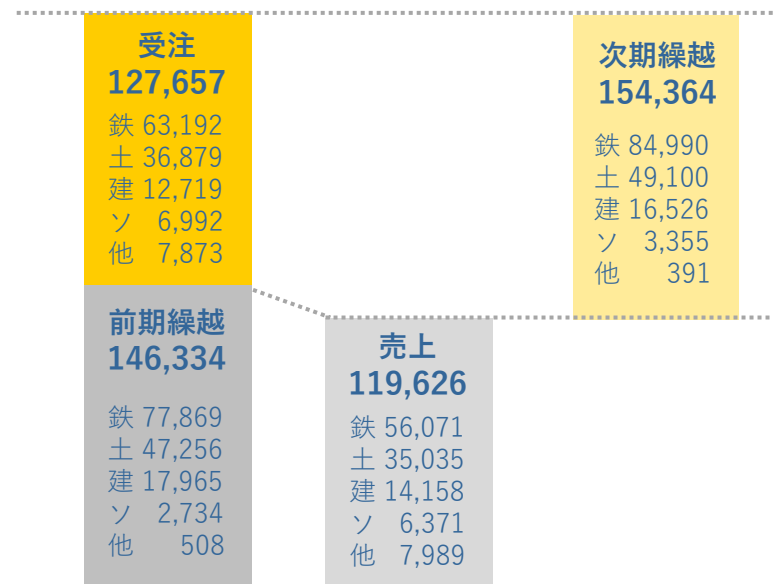
※セグメント間の取引については相殺消去していません

2024年3月期 業績見込

高い前期繰越、引き続き堅調な受注。当期末も高い繰越高を維持

2023年3月期

2024年3月期 見込 （単位：百万円）



※セグメント間の取引については相殺消去しておりません

売上高は過去最高も、現時点で各段階の利益は減少を見込む

（単位：百万円）

	2023/3 実績	2024/3 見込	増減
売上高	118,086	133,000	12.6%
売上総利益	15,626	15,600	△0.8%
営業利益	5,025	4,600	△8.5%
経常利益	6,298	5,100	△19.0%
うち、持分法投資利益	1,378	900	△34.7%
親会社株主に帰属する 当期純利益	4,231	3,900	△7.8%

セグメント別 売上高・営業利益（見込）

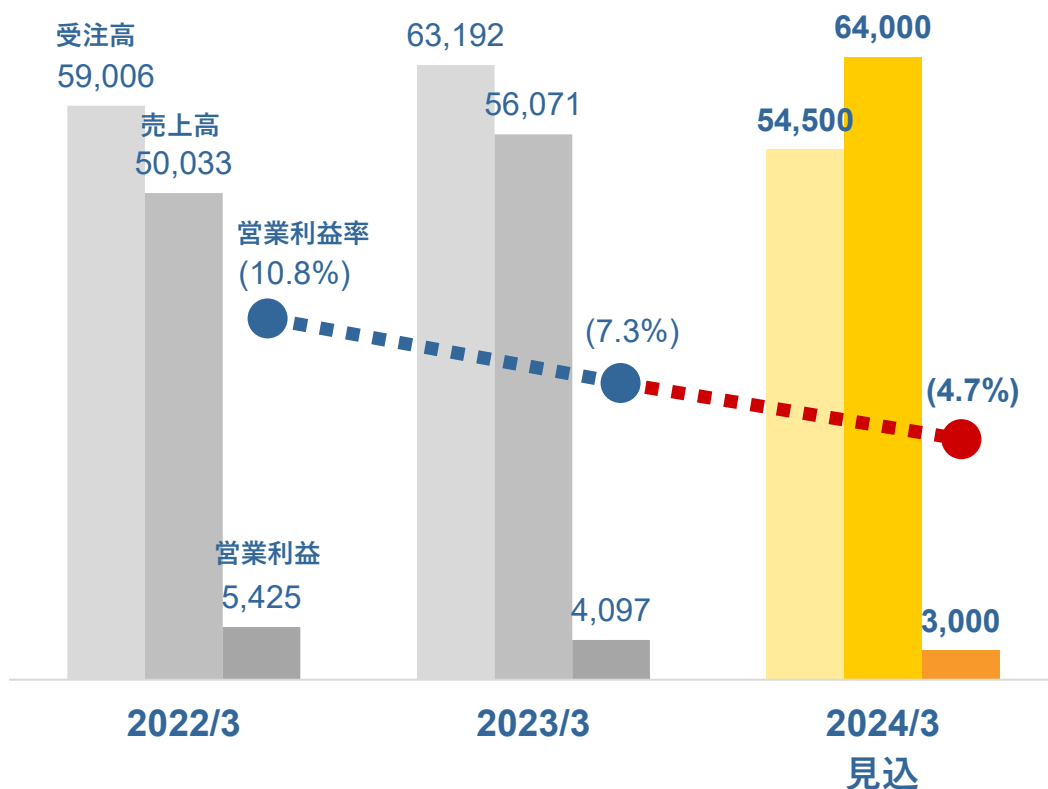
特に鉄構・土木において、設計変更の不透明さもあり減益見通し

	売上高			営業利益 <small>（単位：百万円）</small>		
	2023/3	2024/3 見込	増減	2023/3	2024/3 見込	増減
鉄 構	56,071	64,000	14.1%	4,097	3,000	△26.8%
土 木	35,035	35,000	△0.1%	2,067	1,750	△15.3%
建 築	14,158	20,000	41.3%	△423	150	-
ソリューション	6,371	7,000	9.9%	2,047	2,350	14.8%
その他	7,989	9,000	12.7%	△162	△150	-

※セグメント間の取引については相殺消去しておりません

【鉄構】受注、売上、営業利益（見込）

（単位：百万円）



2024年3月期見込

受注高 54,500
売上高 64,000
営業利益(率) 3,000 (4.7%)

橋梁事業

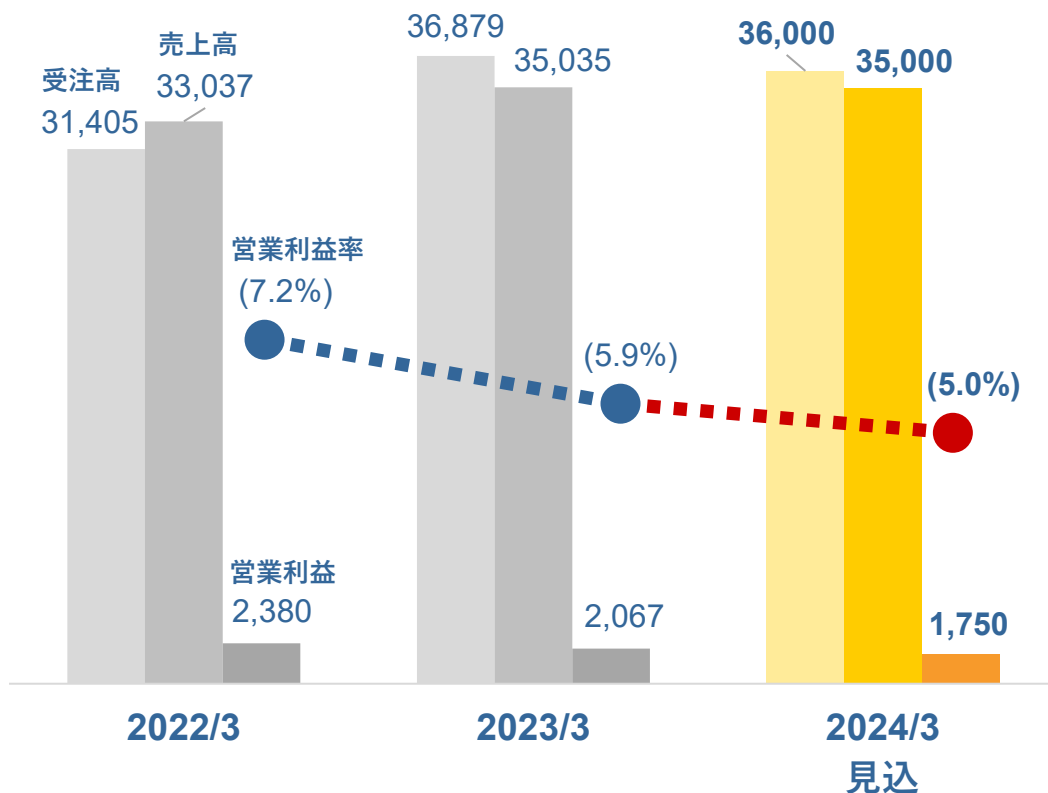
新設物件は長期的には減少傾向ながら、足元では更新・保全案件が急速に増加

鉄骨事業

首都圏再開発やデータセンター、半導体工場の国内回帰に伴う大型物件を引き続き安定的な受注を見込む

【土木】受注、売上、営業利益（見込）

（単位：百万円）



2024年3月期見込

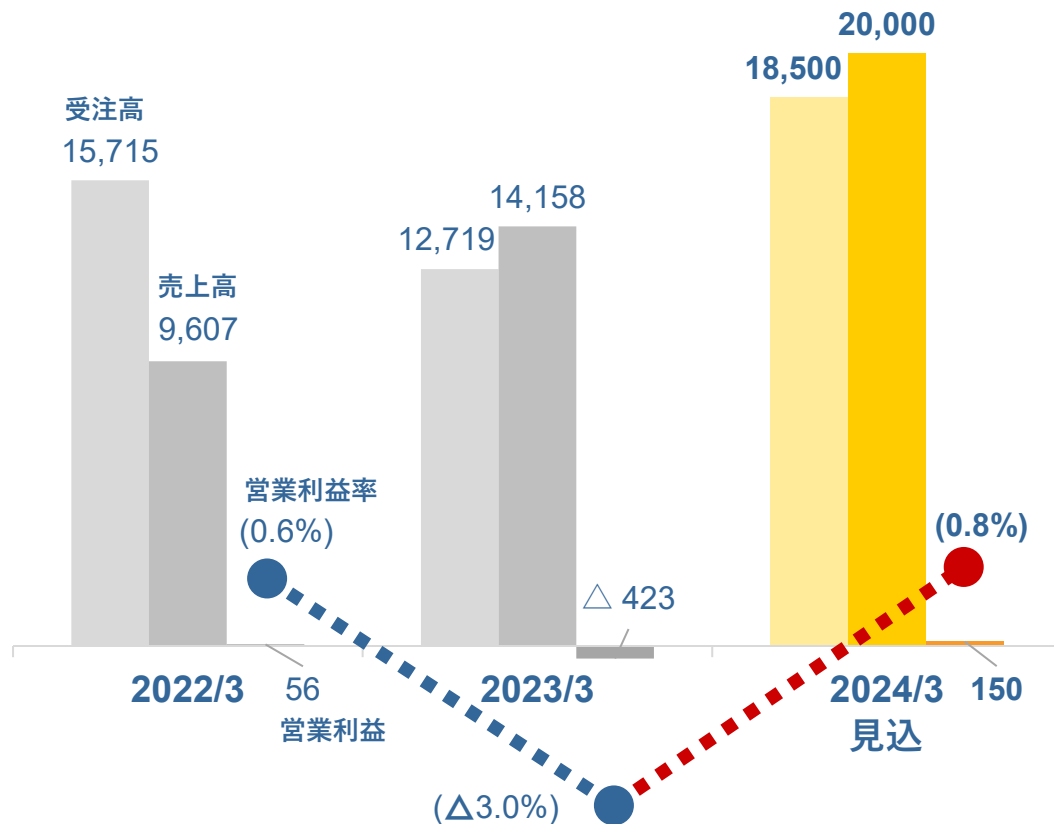
受注高 36,000
売上高 35,000
営業利益(率) 1,750 (5.0%)

更新・保全物件の大型化に伴い受注は難しさを増すが、他社とのJVなど新しい手法で旺盛な需要の取り込みを目指す

売上・利益は安定的な水準を堅持しつつ、一層の効率化に取り組む

【建築】受注、売上、営業利益（見込）

（単位：百万円）



2024年3月期見込

受注高 18,500

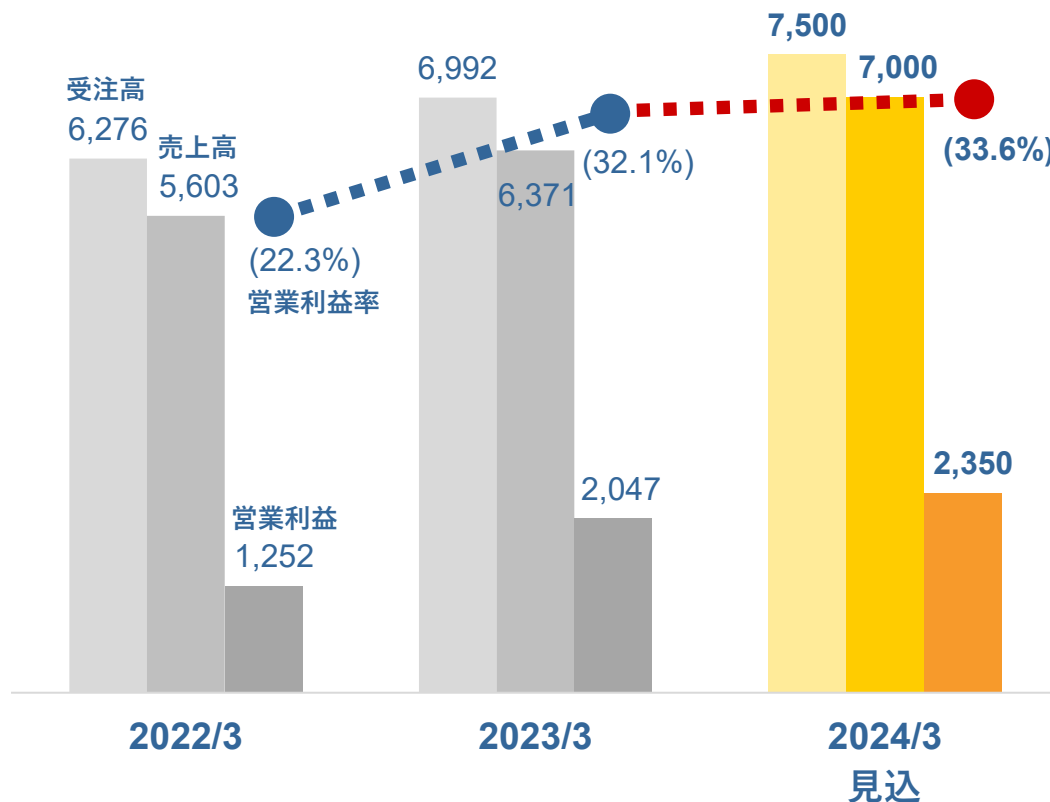
売上高 20,000

営業利益(率) 150 (0.8%)

得意とするシステム建築工法で、
物流倉庫市場の旺盛な需要を今
以上に取り込む
前期の低迷を挽回すべく一丸と
なって努力

前期の急激な建設コスト上昇で
採算の悪化した物件の竣工で、
当期中に黒字回復基調へ

（単位：百万円）



2024年3月期見込

受注高 7,500
 売上高 7,000
 営業利益(率) 2,350 (33.6%)

ソフトウェア関連事業

橋梁の更新・保全事業の拡大に伴い、設計事業が堅調に推移
 国交省が推進するBIM/CIMの取り組みを背景に、3次元CADソフト事業も引き続き好調

ロボット関連事業

半導体不足の影響で製品製作が進まず、受注、売上高ともに伸びず。損益も未だ厳しい

本資料に記載される業界、市場動向または経済情勢等に関する情報は、現時点で入手可能な情報に基づいて作成しているものであり、当社がその真実性、正確性、合理性について保証するものではありません。

また、本資料に記載される当社グループの計画、見積、予測、予想その他の将来情報については、現時点における当社の判断または考えにすぎず、実際の当社グループの経営成績、財政状態その他の結果は、経済情勢、業界の市場動向、原材料価格の変動等により、本資料記載の内容またはそこから推測される内容と大きく異なることがあります。

～お問合せ先～

川田テクノロジーズ株式会社 経営管理部 ir.kti@kawada.jp